

第三会計年度(2012年9月1日～2013年8月31日)FVI会計報告

収入			支出	
国外指定献金(*1)	1,653,325	▶	国際交流支援事業費①	4,736,076
賛助維持会費	591,000		国内活動事業費②	894,469
からし種エイジェント会費	78,000		管理費③	1,703,708
正会員会費	108,000		研修費(*3)	406,004
一般献金	3,526,735			
雑収入	195,820			
利息収入	2,338			
A.運営のための献金収入合計	6,155,218		D.運営費(活動費+管理費)	7,740,284
B.カタリスト指定献金(*2)	9,745,932	▶	E.カタリスト人件費	10,598,000
C.東日本大震災指定献金(*3)	547,560	▶	F.東日本大震災事業費④	3,068,923
小計(A+B+C)	16,448,710		小計(D+E+F)	21,407,180
前年度からの繰越金	12,821,607		次年度へ繰越金(※4)	7,863,137
合計	29,270,317		合計	29,270,317

(*1)すべて国際交流事業費の「対外拠出金」に使用しました。

単位:円

(*2)カタリスト3名の人件費は指定献金の中から拠出する「セルフサポート」を原則とし、不足分は、前年度カタリスト指定繰越金を充当しています。

(*3)研修費は、カタリストの研修渡航費などのために用いました。(*4)繰越金は、それぞれ指定された目的のために次年度に繰り越します。

監査の結果、私は、提出された計算書類(収支計算書、貸借対照表および財産目録等)は、「声なき者の友」の輪の2013年8月31日現在の財産状態および同日をもって終了する会計年度の収支状況を適正に表示しているものと認めました。当団体の業務ならびに財産に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2013年10月28日 監事 渋沢浩二

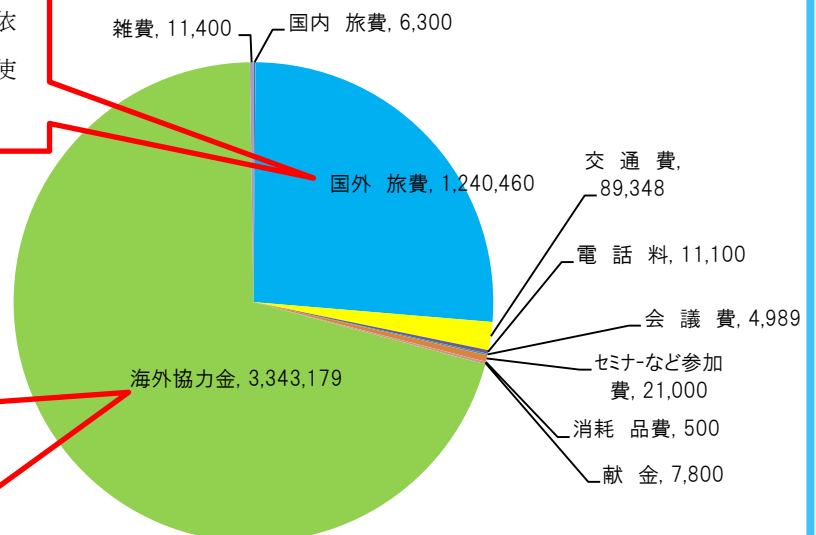
国際交流支援事業費内訳(合計:4,736,076円)

1

●国外旅費は、海外の働きとの相互依存型パートナーシップ構築のために使用しました。

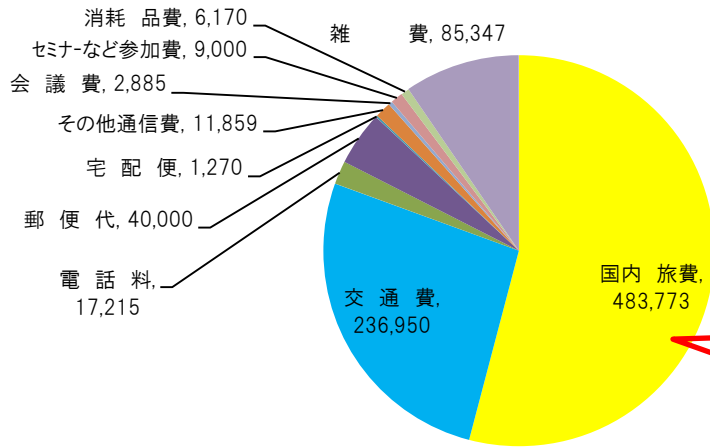
●海外協力金内訳:

ガーナ:	1,347,201円
ニジェール:	264,082円
インドオリッサ州:	442,975円
インドダリット尊厳:	818,921円
エチオピア:	470,000円
合計:	3,343,179円



②

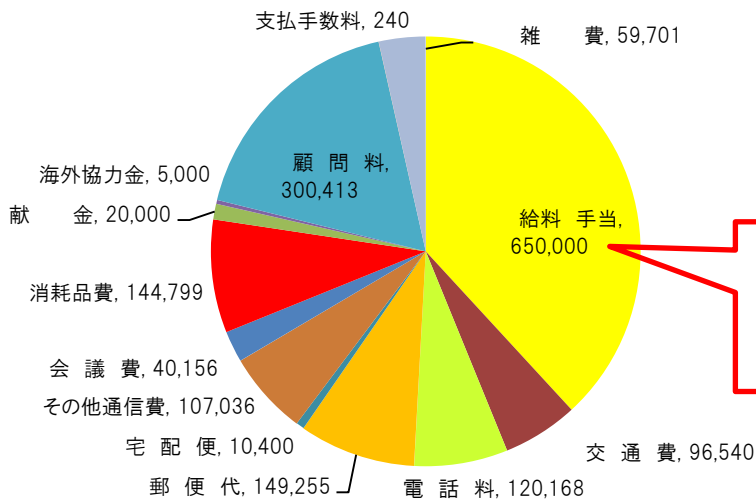
国内活動事業費内訳（合計：894,469 円）



旅費・交通費・電話・郵便・通信費は、国内の啓発活動・ネットワーク構築の目的のために使用しました。

③

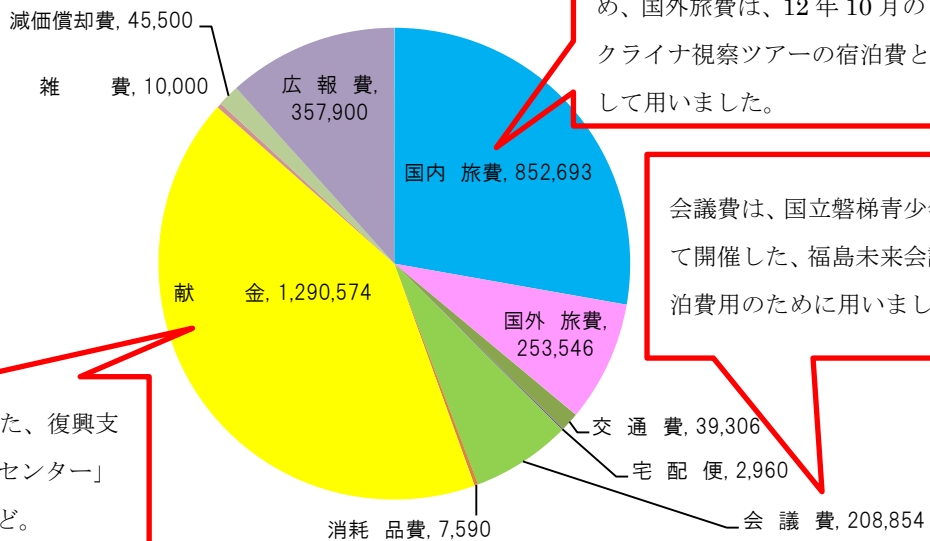
管理費内訳（合計：1,703,708 円）



●パートタイム事務担当、広報担当各一名の準スタッフの給与支出。

④

東日本大震災事業費内訳（合計：3,068,923 円）



国外旅費は、主に福島県訪問のため、国外旅費は、12年10月のウクライナ視察ツアーの宿泊費として用いました。

会議費は、国立磐梯青少年の家にて開催した、福島未来会議4の宿泊費用のために用いました。

2012年10月に完成した、復興支援施設「うすいそ支援センター」の費用（120万円）など。